

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AT128／演習 E28 (Seminars E28)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	戦争末期の新聞連載小説を読む(2)		
担当者名 (Instructor)	石川 巧(ISHIKAWA TAKUMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL2310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

テキストの解釈・分析を通して、そこに描かれる人間、および、社会・風俗・文化の諸相を考察するとともに、テキストが投げかけている問題を自らの言葉で編成し直す能力を鍛える。

The class will interpret and analyze texts to examine the human beings, society, customs, and cultural aspects depicted within, and will train students in the ability to reorganize the issues put forth in texts in students' own words.

#### 授業の内容(Course Contents)

毎回の授業は各自(またはグループ)での発表と議論によるゼミ形式で行う。毎回、発表者がレジュメを用意し、45分程度の発表を行ったあと、その内容をめぐる議論を行う。各発表者は自分の研究テーマに即したテキストを指定する。

The class will be held in seminar format, with discussions and presentations by individual students or groups. In each session, a presenter will prepare an outline and give a presentation for about 45 minutes, after which discussion of the content will take place. Each presenter will designate texts according to their own research themes.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 模擬発表 1
3. 模擬発表 2
4. 発表 1
5. 発表 2
6. 発表 3
7. 発表 4
8. 発表 5
9. 発表 6
10. 発表 7
11. 発表 8
12. 発表 9
13. 発表 10
14. 予備日

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

発表のレジュメに関しては、(1)同時代評、周辺言説、作者自解、先行研究などの資料、(2)テキスト内の語彙に関する注釈、(3)問題編成、(4)テキストの分析と考察、(5)結論、などを明確にし、議論の叩き台とする。演習の参加者はテキストを精読し、自分の「読み」を示すことができるようにして演習に臨むこと。ゼミでは他者への敬意をはらいつつ容赦のない相互批評を展開してもらいたい。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 議論への参加(60%)

#### テキスト(Textbooks)

戦争末期に新聞(全国紙)に連載された小説を読む。テキストに関しては受講者全員でデジタル新聞記事をPDFにして配布する。ただし、2021年度に授業で扱ったものと同一のテキストを使用するのは不可。

#### 参考文献(Readings)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

